

学校教育におけるファシリテーション ②

～コンテンツとプロセス～

東京学芸大学教職大学院 准教授 増田謙太郎



Gakugei 東京学芸大学
Tokyo Gakugei University



「子ども視点」で考えたとき

主体的・対話的で深い学びを実現させるには



ファシリテーションの技法を用いて
授業のデザインを考えていく

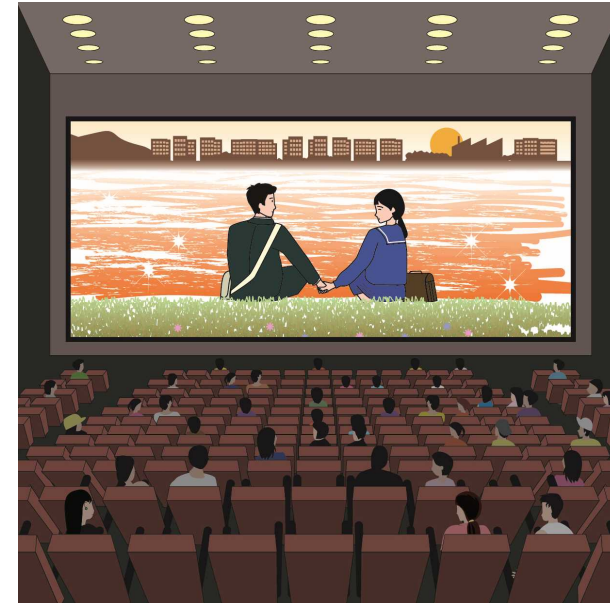


今回は「コンテンツ」と「プロセス」で考える

コンテンツ と プロセス

コンテンツ

内容、中身



プロセス

過程、手順



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

コンテンツとプロセス

コンテンツ

(例)

「主人公の行動について」

「数学の解き方について」

「遠足の行先について」



学習課題といわれているものは
だいたい「コンテンツ」

プロセス コンテンツではないもの

- ・どのような話し方をしているか
- ・どのようにお互いの話を聞いているか
- ・どのような雰囲気か
- ・どのように参加しているか
- ・どのような気分か



コンテンツとプロセスの「冰山モデル」

コンテンツ は見えやすい

学習内容や学習活動は
教師が把握しやすい

プロセスは見えにくい

集団の関係性や個人の内面は
教師が把握しにくい

授業の場面でも同じことがいえるのでは？

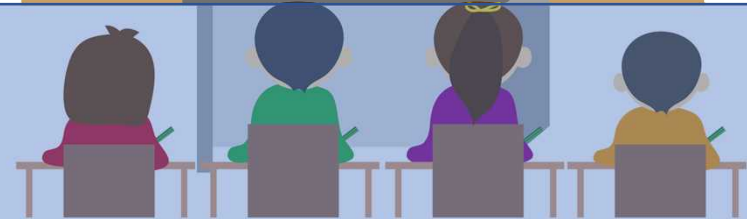
コンテンツ は見えやすい

学習内容や学習活動は
教師が把握しやすい



プロセスは見えにくい

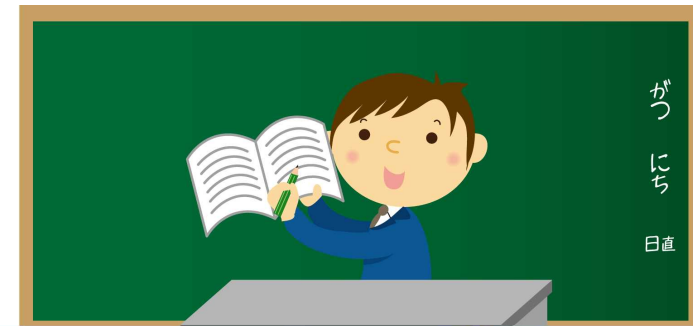
集団の関係性や個人の内面は
教師が把握しにくい



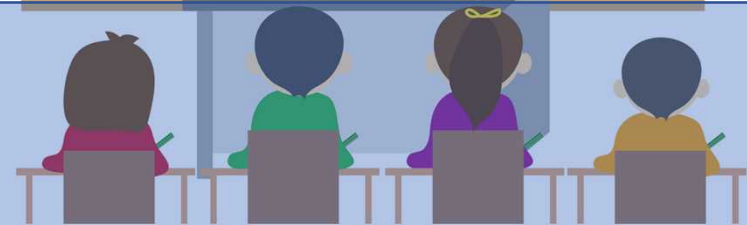
授業の場面でも同じことがいえるのでは？

コンテンツ は見えやすい

学習内容や学習活動は
教師が把握しやすい



プロセスは見えにくい



よくわからないなあ・・・

なんか雰囲気がいやだ

発言したい

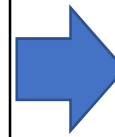
質問したい

休憩したい

教師がコンテンツとプロセスを意識できると



A案かB案かを
決めましょう

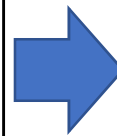


コンテンツの視点

授業者としては「コンテンツ志向」になりがち



みんなが気持ちよく
話し合えるように



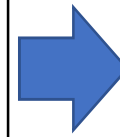
プロセスの視点

ファシリテーターとしては
「プロセス志向」も必要





みんなが気持ちよく
話し合えるように



プロセスの視点

対話的な学習の場面で
子どもが学びやすくなるために
プロセスの視点として
教師にはどのようなことが
できるでしょうか？



動画を一時停止してお考えください



例えば・・・

場のデザインを工夫する

何人組のグループにするか

2人組だと？

3人組だと？

4人組だと？



この人数だと司会者が
必要かな？



みんなが気持ちよく
話し合えるように



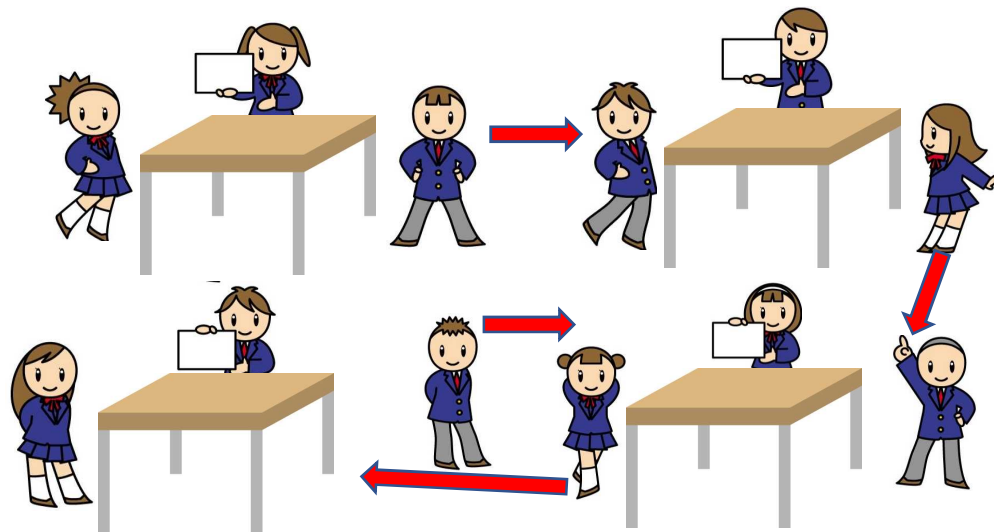
プロセスの視点



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

場のデザインの工夫

どのような話し合いの形態にするか



例えば・・・

「ワールドカフェ」の
手法を取り入れる



みんなが気持ちよく
話し合えるように



プロセスの視点



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

例えば・・・

場のデザインを工夫する

- ・何人組のグループにするか
- ・どのような話し合いの形態にするか

ファシリテーターとしての教師

場のデザインを工夫して子どもたちが話しやすくする



例えば・・・

個々の子どもの対人関係のスキルに着目する

もしこの子どもが、



「他者に自分の気持ちを適切な方法で伝えることが難しい子ども」だったら？

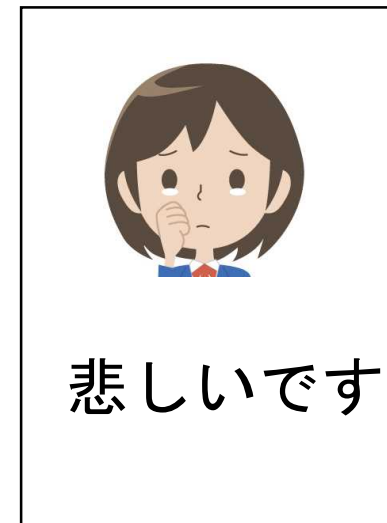


教師はどのような支援ができるか？

他者に自分の気持ちを適切な方法で伝えることが難しい子ども



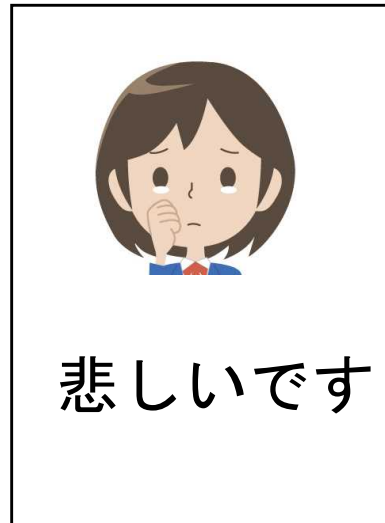
子どもによっては、環境などの要因によって、心理的に緊張したり不安になったりする状態が継続してしまうことがある



例えば、このようなカードを用いる

例えば・・・

個々の子どもの対人関係のスキルに着目する



ファシリテーターとしての教師

個々の子どもに適切な支援をすることで
子どもたちが話しやすくする

- ・場のデザインを工夫する
- ・個々の子どもへの対人関係のスキルに着目する



プロセスの視点での技法

子ども視点で「主体的・対話的で深い学び」が
しやすくなる授業デザイン

参考文献

- ・安齋勇樹・塩瀬隆之 問いのデザイン 創造的対話のファシリテーション 学芸出版社 2020年
- ・津村俊充 改訂新版プロセス・エデュケーション 学びを支援するファシリテーションの理論と実際 金子書房 2019年
- ・徳田太郎・鈴木まり子 ソーシャル・ファシリテーション 「ともに社会をつくる関係」を育む技法 北樹出版 2021年
- ・井上義和・牧野智和（編集） ファシリテーションとは何か コミュニケーション幻想を超えて ナカニシヤ出版 2021年